

今月の特集

〈4組〉磯子区合同学習発表会

2月8日(木)に栄公会堂で磯子区合同学習発表会が行われました。区内の個別支援学級の児童による学習発表会です。新型コロナウイルス感染症に伴い公会堂に集合しての発表は4年ぶり、ほとんどの児童が初めて体験することとなりました。

今年度は、「山王台のおんがくたい」普段の外国語活動と音楽で学んだことを生かして、英語劇と合奏をしました。グループごとに動きを考えたり、テンポを揃えて演奏したりしながら練習を繰り返しました。本番では、練習の成果を出し、堂々とした態度で発表することができました。



〈5年〉横浜 DeNA ベイスターズ「特別授業 教えて！クルーのおしごと」

2/22(水)と3/13(水)の2日間にわたって、横浜市内の小学5年生を対象にした、学校の授業の一環として行うキャリア教育プログラム「横浜 DeNA ベイスターズによる特別授業 教えて！クルーのおしごと」に参加しています。2/22(水)は、横浜 DeNA ベイスターズで働いている方からのオンライン講話を受け、プロ野球チーム運営に携わる仕事内容や働くクルーの想いを伺い、将来について考えるきっかけとなりました。授業の中で、山王台小学校3人の質問をプロ野球選手が事前に答えてくださり、紹介をしてくださいました。子どもたちは、大喜びでした！！3/13(水)には、子どもたちが楽しみにしている「試合観戦」を予定しています。試合を観るだけでなく、1年間のまとめと位置づけて、公共マナーの向上なども図っていきたくと考えています。残り、5年生として過ごす時間を大切に、5年生全員で結束し、最後まで「5(GO)ing」(学年目標)を磨き続けていきます。



児童支援専任より

『いじめ防止対策委員会』を毎月開催し、いじめとして認知したものや引き続き見守るものを情報共有しています。子どもたちは、(大人も)聖人ではありません。成長過程にあり、失敗もたくさんします。いじめは人間関係を構築していく練習の中で、多くの子どもたちが経験する人権侵害です。見て見ぬ振りも加害側になるので、どちらかという加害側を経験することが多いかもしれません。未然防止に努めていますが、いじめが発覚することも当然あります。そのときは、担任や専任、当該児童に関わる教職員、管理職も入ってチームで対応します。傷ついた児童に寄り添って話を聞きます。意地悪してしまった児童からも話を聞き、説諭しますが、別のストレスがいじめの原因になっていることも多いです。大人と一緒に解決に向かうと、子どもたちは少しすっきりした表情になります。いじめはつらいですが、自分の成長につなげたという意識をもてるように支援しています。困るのは、もの隠しなど相手がわからないいじめです。全体指導をして自己反省を促し、次につながらないようにします。物が出てこないままのこともあり、ご心配をおかけしたままなのは本当に申し訳ないです。

今後も日々いろいろなことがあると思いますが、子どもたちみんなが安心して学校生活を送れるように力を尽くしていきますので、ご理解・ご協力をお願いします。

学援隊のみなさん
ありがとうございました。
ました。



毎朝登校を見守ってくださる皆さんに感謝の気持ちを伝えました。今後もよろしくお願ひします。